

- 1 大正時代、平塚らいてうが先導した、女性の社会的地位の向上と性差による差別からの解放を目指す運動を何という？

- 2 1912年に再び内閣を組織し、民衆から批判を浴びて第一次護憲運動の発端となった長州藩出身の政治家は誰？

- 3 大正時代初期、護憲運動で批判の的となった、特定の藩出身者が政治を独占する仕組みを何という？

- 4 「女性は太陽であった」という言葉を掲げ、大正時代の女性解放運動の中心となった人物は誰？

- 5 吉野作造が唱えた民本主義において、政治は最終的に何を最優先すべきであるとされた？

- 6 第一次世界大戦後に朝鮮で発生した、日本からの独立を求める大規模な民族運動を何という？

- 7 1918年、第一次世界大戦による急激な物価上昇の中で、米騒動のきっかけをつくった富山県の人々はどの層か？

- 8 1922年に結成され、小作料の引き下げなどを求めて活動した農民団体の組織を何という？

- 9 平塚らいてうが中心となって創刊し、当時の女性の自由な発信を促した文芸雑誌を何という？

- 10 労働者が賃上げや労働条件の改善を求めて行う争議のことを何という？

- 11 藩閥政治を批判し、憲政の擁護を掲げて行われた運動を何という？

- 12 大正時代から昭和初期にかけて、国民が人間らしく生きる権利を保障するために掲げられた権利を何という？

- 13 シベリア出兵で、日本に共同出兵を呼びかけた国はどこ？

- 14 1922年の全国水平社結成時に中心的な役割を果たした人物は誰？

- 15 第一次世界大戦後の1919年に、戦後の処理を決めるために開かれた国際会議を何という？

- 16 賃金上昇が物価上昇に追いつかず、労働者が待遇改善を求めて引き起こした争いを何という？

- 17 第一次世界大戦後に提唱された民族自決の原則の影響を受け、1919年に朝鮮で発生した大規模な独立運動を何という？

- 18 雑誌『青鞥』の創刊号で、女性の目覚めを象徴する言葉として使われた天体は何？

- 19 第一次世界大戦中、日本がドイツの権益を奪う目的で参戦する根拠となった、日本とイギリスが結んでいた同盟を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	平塚らいてうは、文学活動である『青鞥』から出発し、やがて具体的な社会改革を目指すようになります。		<u>女性解放運動</u>	☐
2	<u>桂太郎</u> は明治後期から大正初期にかけて計3回内閣を組織しました。		<u>桂太郎</u>	☐
3	<u>藩閥政治</u> とは、特定の藩出身者が長期にわたって政府の要職を固める政治体制のことです。		<u>藩閥政治</u>	☐
4	<u>平塚らいてう</u> は、女性の感性を活かした表現の場として1911年に雑誌『青鞥』を創刊しました。		<u>平塚らいてう</u>	☐
5	その結果、主権の所在を問うよりも、政治を行う目的が「 <u>民衆の利益</u> 」にかなっているかどうか、そして民衆が政治に影響を与えられるかという点を重視すべきだと説きました。		<u>民衆の利益</u>	☐
6	1919年3月1日、朝鮮の独立を求める人々が各地でデモを行いました。これが「 <u>三・一独立運動</u> 」です。		<u>三・一独立運動</u>	☐
7	1918年、富山県の漁村に住む <u>主婦</u> たちが、米の積み出しを阻止しようとした行動が報道されると、同様の困窮に苦しむ人々が共感し、米騒動として全国に広がりました。		<u>主婦</u>	☐
8	賀川豊彦らが中心となって結成した <u>日本農民組合</u> は、日本初の全国的な農民運動組織です。		<u>日本農民組合</u>	☐
9	平塚らいてうが創刊した『 <u>青鞥</u> 』は、女性による、女性のための雑誌として当時の文壇や社会に衝撃を与えました。		<u>青鞥</u>	☐
10	労働組合は、使用者に対して賃上げや労働時間の短縮、職場環境の改善を求めてストライキ（同盟罷業）などを行うようになり、これらを <u>労働争議</u> と呼びます。		<u>労働争議</u>	☐
11	1912年、陸軍が内閣を崩壊させたことに反発し、尾崎行雄や犬養毅らが中心となって「憲政擁護」を訴える運動を開始しました。		<u>第一次護憲運動</u>	☐
12	<u>生存権</u> とは、国民が「健康で文化的な最低限度の生活」を送る権利のことです。		<u>生存権</u>	☐
13	日本は当初、 <u>アメリカ</u> からの要請を受けて軍隊を派遣しました。		<u>アメリカ</u>	☐
14	<u>西光万吉</u> は、1922年に京都市で開かれた全国水平社の結成大会において指導的役割を果たしました。		<u>西光万吉</u>	☐
15	この会議には日本も戦勝国の一つとして参加しました。		<u>パリ講和会議</u>	☐
16	当時の日本では米価が急上昇したことで、労働者たちは生活を守るために団結し、 <u>労働争議</u> が頻発しました。		<u>労働争議</u>	☐
17	これは「 <u>三・一独立運動</u> 」と呼ばれ、日本側は警察や軍隊を出動させて武力で鎮圧しました。		<u>三・一独立運動</u>	☐
18	平塚らいてうが『青鞥』創刊号に寄せた宣言文で、「元始、女性は実に <u>太陽</u> であった。		<u>太陽</u>	☐
19	1914年に第一次世界大戦が勃発すると、日本はこの同盟を根拠にイギリス側として参戦しました。		<u>日英同盟</u>	☐

言えなかった用語ノート